

昭和 26 年ルー ス 台 風【昭和 26 (1951) 年 10 月 14 日～15 日】

■ 気象の概要

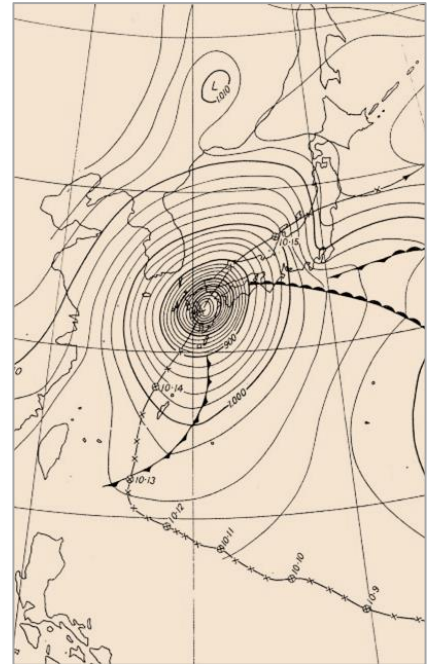
10 月 14 日午後 7 時頃、鹿児島県串木野市付近に上陸したルー ス 台 風（昭和 26 年台風第 15 号）は、時速 100km 前後のスピードで九州、山口、島根を駆け抜け、北陸・東北地方を経て 15 日夕方に三陸沖に抜けました。この台風の上陸は 10 月中旬と遅い時期であったにもかかわらず、上陸時に 935hPa と強い勢力で、暴風域も広く、山口県防府では瞬間最大風速 49.0m/s を観測しました。

台風上陸前は前線に伴う降雨があり、14 日に上陸してからは台風本体の雨雲による豪雨となり、山口県東部から広島県西部では総雨量が 250～300mm に達し、一部地域では 400mm 以上になりました。山口県桑根村（現、岩国市美川町）の災害碑には、最多 1 時間雨量 98mm、連続雨量 499mm と刻まれています。

■ 13 日～15 日の雨量 (mm)

日	下関	萩	広島	浜田
10月13日	39.5	16.3	27.1	8.2
14日	123.8	131.8	159.1	102.3
15日	17.4	59.2	3.6	21.1
計	180.7	207.3	189.8	131.6

（出典：気象庁HP「過去の気象データ」）



台風の進路と 10 月 14 日午後 9 時
天気図【出典：気象庁「天気図」】

■ 被害の状況

ルー ス 台 風による被害は九州・中国・四国の広い範囲にわたり、全国で死者・行方不明は 943 人に達していますが、最も被害が大きかったのは山口・広島県でした。両県の死者・行方不明は 571 人に及び、全国の 6 割を占めています。中でも、雨量の多かった山口県東部から広島県西部にかけては、錦川、小瀬川、太田川支流の水内川流域で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、特に甚大な被害となっています。

錦川では前年 9 月のキジア台風で錦帯橋が流失しており、それを上回る洪水により前年は流失を免れた下流の橋梁も今回は次々と落橋しました。錦帯橋の再建工事をしていた人が、上流で流失した家屋の屋根に人が乗ったまま流されるのを目撃したと言います。また、北河内村（現、岩国市）では土砂災害により 1 集落がほぼ壊滅状態となりました。

広島県では、小瀬川上流や水内川流域の風化花崗岩が広がる山間地域で山崩れが多発し、流出土砂と流木、洪水の濁流が混然一体となって住家、堤防、道路、農地などを押し流し、大きな被害をもたらしました。特に佐伯郡水内村（現、広島市佐伯区湯来町）では、39 人の死者を出しています。また、瀬戸内海の島しょ部でも被害が発生しています。

このルー ス 台 風災害の時、自衛隊（当時は警察予備隊）の災害派遣が吉田首相の命令により初めて行われ、山口県の北河内村や広瀬町で救助活動や救援物資の搬送が行われました。

この年の夏は国内全体では少雨傾向で、水不足から電力供給がひっ迫していた地方もあり、大きな災害とともに水不足の解消を同時にもたらした台風でした。

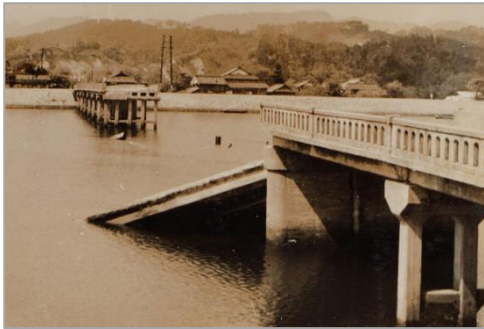


旧水内村、岩淵谷川の土石流（広島市佐伯区湯来町和田）
【出典：広島県土木建築部砂防課「昭和 20 年代砂防災害写真集」】

■ルース台風の主な被害

区 分		単 位	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国計	全 国
人的被害	死 者	人	-	1	1	132	281	415	572
	行方不明	〃	8	2	-	34	124	168	371
	負 傷 者	〃	-	1	7	361	1,869	2,238	2,644
住家被害	全壊・流失	棟	27	18	※116	1,066	2,111	3,280	24,716
	半 壊	〃	90	128		1,267	5,427	6,970	47,948
	床上浸水	〃	-		※102	5,726	7,827	13,890	30,110
	床下浸水	〃	150	※572		17,863	28,163	46,513	108,163

※の数値は1/2を中国計に集計
全国値は「消防白書」による



落橋した錦川下流の愛川橋（山口県岩国市）
【出典：山口県「ルース災害工事写真集」】



広島県大竹市西栄の浸水状況
【出典：太田川河川事務所】



流木に覆われた浅原村の惨状（広島県廿日市市浅原）【出典：広島県土木建築部砂防課「昭和20年代砂防災害写真集」】

災害の記憶を伝える

※碑の写真をクリックすると位置が表示されます



慰霊碑（広島市佐伯区湯来町麦谷）

被害の大きかった旧水内村の中でも下井谷地区では21人の犠牲者を出しました。昭和32年に遺族によって霊を弔う慰霊碑が建立されています。



ルース台風災害記念碑（山口県岩国市美川町）

桑根村（現岩国市美川町）では死者78名、家屋流失115戸などの大きな被害を受けました。1周年にあたって、災害を後世に伝え復興の誓いを新たにすため、記念碑が建立されました。側面には最高水位も刻まれています。



ルース台風を偲ぶ（広島市佐伯区湯来町麦谷）

災害から41年を経た平成4年、湯来町を流れる水内川流域でルース台風のような災害が再び発生しないよう祈念して建立されました。



昭和26年 災害復旧記念碑（広島県廿日市市中道）

羅漢山の麓の旧四和村中道地区では死者6名、家屋全半壊17戸などの被害を受けました。昭和31年に災害復旧の完成を記念して碑が建立されました。